



着物を着ると自然に背筋が伸びて気が引き締まる。「3歳から舞踊を習っているので、着物を着るのは普通のこと」と話す師範の田野中さん。でも、子どものころは洋服しか着ない友達を見ると、少し違和感があったそうです。舞踊を習う子どもたちに同じ思いをさせたくない、舞踊を通して着物をもっと身近に感じてもらいたい。そんな思いもあり『錦照会』を3代目として受け継いでいます。

毎年、妙光寺の千部会や祇園祭のほか、町のイベントや近隣の舞踊発表会などにも参加。日ごろの稽古の成果を大勢の皆さんに披露しています。

舞踊は少し堅苦しく思われがちですが、最近は演歌やアップテンポな曲に振り付けをすることもあり、若

サークル CIRCLE ZUKAN 鑑

第56回 舞踊サークル 『錦照会』

- ①活動歴 38年
- ②年齢層 5歳～80代の男女
- ③活動場所 および活動時間
①コミュニティプラザ第3研修室
毎週土曜日9:00～12:00
②役場附属棟
毎週木曜日15:00～17:00
※上記以外の活動も有り
- ④代表者 田野中裕美子(たのなかゆみこ)
- ⑤連絡先 ☎76-2691

い方でも気軽に楽しんでいただけます。パフォーマンス的なものも取り入れて、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう努力しています。

田野中さんは「一人ひとりの個性がまとまり、一つの作品が出来上がると、とても感動します。人に教える立場になってからは、逆に教えられることが多くなりました。『錦照会』が38年間も続けられているのは、たくさんの方の協力のおかげ。これからも舞踊を習って良かったと思ってもらえるよう指導していきたい」と笑顔で語ってくれました。

5月9日(日)には、文化ホールにおいて多古町舞踊連合会(9サークル)による舞踊発表会が開催されますので、ぜひお越しください。



編集 後記

★3月下旬に家族総出で
まいた種が、ハウスの中
できれいに成長。いよいよ
よ田植えのシーズンを迎えま
した★ハウスのビニール張りや種
まきは手伝うものの、苗の管理
や田植えの準備はすべて父親に
任せきりのわたし。毎年、田植
えの当日になって、初めて緑色
に育った苗と対面します★苗が
育つ過程は、子どもが成長する
過程に似ているような気がしま
す。苗がきちんと成長するかど
うかは、心を込めた日々の管理
(世話)が重要ですが、これは「子
育て」にも言えることではない
でしょうか★一日も休まず丁寧
に苗を育てる父親の姿。わたし
も「子育て」に当たって見習いた
いと思います。

★広報係になって早一年。毎月
の取材や締め切り日に追われ、
振り返り反省することもなく毎
日が過ぎていきました★ここで
ちよつと一息：振り返ると初め
て知った『広報たこ』のできるま
で。一冊の広報はたくさんの方
の協力があつて完成することを
実感。取材先で励ましてもらつ
たり、時にはおやつをいただいた
り♥皆さんのおかげで一年が終
りました★職場では「今日は原
稿の締め切り日オーラ」がわたし
から出ていることを察知し、み
んなに協力してもらっています。
これからも『広報たこ』に貢献で
きるよう頑張ります!!